

# 第 76 回 中越地区中学校卓球大会 兼 第 57 回 新潟県中学校総合体育大会卓球競技予選会 要項

1. 主 催 新潟県中学校体育連盟 中越地区中学校体育連盟
2. 共 催 三条市教育委員会
3. 主 管 中越地区中学校体育連盟卓球専門部
4. 後 援 燕市教育委員会 (一社) 燕市スポーツ協会 燕卓球連盟  
長岡市教育委員会 (公財) 長岡市スポーツ協会 長岡市卓球協会  
魚沼市教育委員会 魚沼市スポーツ協会 魚沼市卓球協会  
十日町市教育委員会 (一社) 十日町市スポーツ協会 十日町市卓球協会  
(一社) 三条市スポーツ協会 三条卓球連盟 新潟日報社
5. 期 日 1 日目 北・南：令和 7 年 6 月 6 日（金） 中央：令和 7 年 6 月 10 日（火）  
2 日目 北・南：令和 7 年 6 月 7 日（土） 中央：令和 7 年 6 月 13 日（金）  
3 日目 令和 7 年 6 月 18 日（水）

## 6. 会 場

	1 日目	2 日目	3 日目
北	男女団体・男女3年個人B 三条市体育文化会館	男子個人：燕市吉田総合体育館	男女団体・個人 地区代表決定戦 長岡市市民体育館
		女子個人：燕市分水総合体育館	
中央	男女団体 長岡市市民体育館	男女個人・男女3年個人B 長岡市市民体育館	
南	男女団体 十日町市総合体育館	男子個人・3年個人B：十日町市総合体育館	
		女子個人・3年個人B：川西総合体育館	

7. 競技種目 男子団体戦・個人戦 女子団体戦・個人戦  
各ブロックでの開催時に、「個人戦に登録しなかった3年生の試合（3年個人B）」を実施する。形式は各ブロックの運営に一任する。

## 8. 参加資格

中越地区の中学校・義務教育学校・中等教育学校に在学する生徒で、当該校の校長が承認した生徒であること。もしくは、新潟県中学校体育連盟へ参加認定を申請し、承認された団体に所属している中学生であること。

## 9. 出場制限

団体戦は各団体1チームとする。個人戦は、各団体8名までとする。  
「個人戦に登録しなかった3年生の試合」に出場人数制限はない。

## 10. 地区代表決定戦への各ブロックからの出場枠（団体16チーム、個人48名）

	団体		個人	
	男子	女子	男子	女子
北	6	6	17	16
中央	5	6	18	18
南	5	4	13	14

## 11. 競技日程

3日間各ブロック共通で、役員入場7：30、開場8：00を原則とする。詳細は後日配信する。

## 12. 競技方法

### 【1】団体戦

ア. チーム編成は監督1名（当該校教員または部活動指導員）、団体戦アドバイザー1名（当該校教員または部活動指導員、または校長が承認した外部指導者）、マネージャー1名（当該校教員か生徒）、選手10名の計13名以内とする。地域クラブとして参加する場合、監督・団体戦アドバイザーについては、新潟県中学校体育連盟に登録をされた20歳以上の成人（代表者・指導者）とする。マネージャーについては、新潟県中学校体育連盟に登録をされた20歳以上の成人（代表者・指導者）または選手であることとする。

イ. ブロック代表を決定し、県大会代表決定トーナメントを行う。

ウ. ブロック代表の決定方式については、各ブロックの専門部に一任する。

エ. 4単1複、3番にダブルスをおく。ただし、同一選手が同一試合でシングルスとダブルスを兼ねることはできない。

オ. 11点5ゲームスマッチとする。

カ. 18日（水）の県大会代表決定トーナメントは全て3点先取とする。

キ. 全校在籍生徒数（男女別）が4、5名でも参加できるが、オーダーは次のようにし、該当校の監督は代表者会で申し出る。 ※5名の場合…2、3、4、5番 ※4名の場合…3、4、5番

### 【2】個人戦

ア. ブロック代表を決定し、県大会代表決定トーナメントを行う。県大会代表決定戦では、3位決定戦、5－8位決定戦、17位決定戦、25位決定戦を行う。

イ. ブロック代表の決定方式については、各ブロックの専門部に一任する。

ウ. 11点5ゲームスマッチとする。

エ. 個人戦アドバイザーは1名とし、試合途中で交代することはできない。アドバイザーは校長が承認し、事前に登録された者とする。また、選手が複数出場する場合は、その数まで登録することができる。

※選手が地域クラブとして参加する場合のアドバイザーは、新潟県中学校体育連盟に登録をされた20歳以上の成人（代表者・指導者）・選手であることとする。

## 13. 組合せ

ア. ブロック代表決定戦については、中越地区中体連卓球専門部で競技方法を確認し、ブロック専門部で組み合わせを決定する。

イ. 地区代表決定トーナメントの組み合わせは、団体戦・個人戦ともに、各ブロックでの大会後、中越地区中体連卓球専門部で組合せを決定する。

14. 表 彰 (1)団体戦 男女各3位まで (3位2校)

(2)個人戦 男女各ベスト8まで(5位4名)

15. 申 込 所定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日厳守で申し込むこと。

【1】大会申込み、参加料については、全体要項記載のとおりである。

【2】届け出先 各郡市専門部長

【3】データはメールで令和7年5月8日（木）18：00必着

職印が押された申込書は令和7年5月12日（月）18：00必着

【4】その他 参加選手名簿の書式、大会前の組合せ・連絡事項等及び大会後の公式記録は、地区専門部長→郡市専門部長→参加校顧問の流れで配信するとともに、新潟県中学校体育連盟のHPで公開する。


新潟県中学校体育連盟HP <http://niigata-chutairen.jp/>

16. 県総体出場権 団体戦男女各6位まで。個人戦男女各ベスト28まで。

申込は順位確定後、直ちに行うこと。

提出書類・参加申込書・参加料納付書・参加料選手1人1000円  
・宿泊申込書（必要であれば）・指導者承認書（必要であれば）

17. 大会規定

- 【1】ルールは現行の日本卓球ルールと、本大会要項、申し合わせ事項による。ただし、促進ルールは適用しない。
- 【2】使用球はJTTA公認のニッタクホホワイト40mmプラスチックボール（プレミアムクリーン）とする。
- 【3】サービス開始後、ボールが手のひらから離れたら、すぐにフリーアームを、ボールとネットとの間の空間の外に出さなければならない。
- 【4】ベンチは登録された者以外は入れない。選手はその試合が終了するまでベンチを離れてはならない。
- 【5】試合前後の挨拶は監督、選手とも、号令に従い同時に行い、試合後あらためて相手監督へはしない。
- 【6】選手は1試合のゲームとゲームの間に1分以内の休憩を取ることができる。
- 【7】タオルの使用は6本毎とする。
- 【8】選手は背面にゼッケンをつける。その際、日本卓球協会交付のゼッケンが望ましいが、右の図のようなゼッケンでもよい。
- 
- 【9】登録選手の変更は原則として認めない。特別な事情があり、変更したい場合は、団体戦1日目のみ代表者会議前に審判長に変更届を提出すること。様式は申込書ファイルに添付する。監督・団体戦アドバイザー、個人戦アドバイザー、マネージャーについてはその限りではないが、事前に指導者承認書が提出されていない者が変更後それらの責務を担う場合は、変更届と共に指導者承認書を提出すること。
- 【10】カメラのフラッシュ撮影は厳禁とする。また、フロアでの写真撮影・ビデオ撮影はできない。
- 【11】団体戦各校の第1試合のユニフォームは同一とする。また、団体戦における2日目の第1試合も同一とする。
- 【12】ラバーを貼り替える必要が生じたときは、日本卓球協会が承認した接着剤を使用し、指定された場所で貼る。
- 【13】団体戦の登録選手を変更する際、個人戦や「個人戦に登録しなかった3年生の試合」に登録していない選手に変更する場合、新たに選手登録料を支払う場合がある。その場合は専門部長の指示に従い、大会終了後速やかに中越地区中体連事務局に納入すること。
- 【14】中学校教職員、部活動指導員、地域倶楽部の代表者は、他チームの外部指導者になることはできない。

18. その他

- 【1】団体戦オーダー用紙兼記録用紙は各試合毎に2枚作成し、1枚を試合前に交換すること。選手名はフルネームで記入し、各チームの責任においてスコアを正しく記録し、勝った場合は速やかに本部に提出すること。
- 【2】進行の都合で同一試合を2台以上のコートで行うことがある。
- 【3】審判は、団体戦では対戦校で相互に出し、個人戦では1回戦は指名審判、2回戦以降は敗者があたる。
- 【4】事前に県総体申し込み用紙に職印を押印のうえ大会に参加し、出場権を得た学校は本大会終了時に申し込むこと。